

モデルカリキュラム活用事例

●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

【活用事例1】 経験の無い方に基本知識と運動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

鉄筋工事における教育訓練カリキュラム						平成21年1月作成		
訓練科名（コース名）		鉄筋工事実践科（鉄筋組立作業コース）			Off-JTの実施主体		備考	
有期実習型訓練の内容	職務名又は教科名		職務又は教科の内容		時間			
	習等 （OJT）	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持		実習に包含 160 180			変更 内容変更
		作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓					
		鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工態度、鉄筋組立					
	OJT計				340時間			
	学科 座学等 （Off-JT）	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念		12			変更 時間
		安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント		6			削除
		鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳（絵符）、鉄筋組立作業の手順		6			変更 時間
		能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）		10			
		学科計				34時間		
	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理、健康診断、安全防具の正しい着用方法		7			削除
		作業管理基本実習	鉄筋材料の種類と識別、運搬、整理整頓		4			
		鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓		10			
		安全衛生基礎実習	労働安全衛生法に基づく技能講習（玉掛け等）、労働安全衛生法に基づく特別教育（クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等）		30	(指定講習機関)		変更 時間 この技能講習および特別教育により時間の変更が必要
		実技計				51時間		
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間				
有期実習型訓練合計				425時間				
主な設備機器		鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、揚重機、ガス圧接機、両頭グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類						

鉄筋工事業における教育訓練カリキュラム				平成21年1月作成	
訓練科名(コース名)		鉄筋工事実践科(鉄筋組立作業コース)		Off-JTの実施主体	備考
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間		
内容変更 → OJT → 更 → 更 → 有期実習型訓練の内容 → 更 →	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	実習に包含		
	作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓、 作業段取	160		
	鉄筋組立作業	組立段取作業、鉄筋組立、態度、 整頓	240		
	OJT計		400時間		
学科 → 更 → 有期実習型訓練の内容 → 更 →	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、職場理解(仕事理解)、倫理規定、就業規則、経営理念、 安全衛生	26		
	鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳(絵符)、鉄筋組立作業の手順	4		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10		
	学科計		40時間		
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理、健康診断、安全防具の正しい着用方法	7		
実技 → 更 →	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	23	(指定講習機関)	受講させる技能講習および特別教育により時間の変更が必要
	安全衛生基礎実習	労働安全衛生法に基づく技能講習(玉掛け等)、労働安全衛生法に基づく特別教育(クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等)	30		
	実技計		60時間		
Off-JT(教育訓練機関)小計			100時間		
有期実習型訓練合計			500時間		
主な設備機器		鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、揚重機、ガス圧接機、両頭グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工用工具類、溶接用工具類、計測器類			

※500時間(OJT:400時間、Off-JT:100時間) 8時間/日 → 約63日

【Off-JT実施パターン】の例

9:00 10:00 12:00 13:00 16:00 18:00

例1)

	学科:2時間			実技:2時間
--	--------	--	--	--------

9:00 12:00 13:00 16:00 18:00

例2)

学科および実技:3時間		学科および実技:5時間
-------------	--	-------------

訓練期間を3ヶ月で計画した場合

【活用事例2】 経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、現場復帰させるための訓練をおこなう場合

鉄筋工事業における教育訓練カリキュラム				平成20年10月作成	
訓練科名(コース名)		鉄筋工事実践科(鉄筋組立作業コース)			
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	職務名又は教科名	職務又は教科の内容	時間	
		安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	実習に 包含	
		作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓	52	
		鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工態度、鉄筋組立	120	
	OJT計 172時間				
	座学等 (Off-JT)	学 科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規定、就業規則、経営理念、鉄筋組立作業の基本知識	12
			安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理	3
			能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10
		学科計 25時間			
		実 技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理(健康診断の受診)、救急処理、安全防具の正しい着用方法	6
作業管理基本実習			鉄筋材料の識別と分別保管の方法、運搬、整理整頓	6	
鉄筋組立基本実習			鉄筋組立作業の方法、整理整頓	6	
実技計 18時間					
Off-JT(教育訓練機関)小計 43時間					
有期実習型訓練合計 215時間					
主な設備機器		工事用リフト、コンクリートミキサ、ランマ、パイブレータ、鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、ガス圧接機、携帯用電気丸のこ、携帯用電気かんな、電気ドリル、電気ハンマ、両頭グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工作用工具類、溶接用工具類、計測器類			

※215時間(OJT:172時間、Off-JT:43時間) 8時間/日 → 約27日

※215時間(0JT:172時間、Off-JT:43時間) 8時間/日 → 約27日

補 足

※助成金受給の条件

- ・6カ月訓練の総時間数425時間以上(3ヶ月訓練では215時間以上)
- ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割～2割の範囲

※記載した各カリキュラム事例は、ジョブカード制度の活用とともに助成金の受給を想定した場合の訓練時間を記載しています